Grant Thornton

News Insight & Recap

2025年9月

続きを読む

注：以下の内容は、特定の個人または法人の状況に対応することを目的としたものではありません。また、本書類の受領日時点で情報が正確であること、あるいは今後も引き続き正確であることについて、何ら保証するものではありません。

GRANT THORNTONの洞察

ベトナムは2025年第3四半期を持続的な成長の勢いで締めくくり、前年同期比で8.23%の成長を記録し、年初から9か月間では7.85%の成長を達成しました。産業とサービスが引き続き経済を牽引し、堅調な国内消費と観光の回復がこれを支えました。貿易総額は前年同期比で17.3%増加し、ベトナムは168.2億米ドルの貿易黒字を維持しました。FDIの誘致も好調で、9か月間の実行額は188億米ドルと過去5年間で最高を記録しました。これらの結果は、世界経済の不確実性が続く中でも、ベトナム経済の根底にある活力を再確認するものです。

これらの成果に加え、9月はベトナムの経済軌道においてより決定的な転換点となりました。ホーチミン市の国際金融センター（IFC）の着実な計画と、グローバル金融センター指数における同市の順位上昇は、より深い金融統合に向けた制度的な準備が整いつつあることを示しています。さらに、ベトナムの株式市場を「二次新興市場」へ格上げする取り組みや、グリーントレード指針の導入は、質の高い国際統合型成長への政府の意図的な移行を反映しています。これらの取り組みは、米国の新たな関税発効、EUの持続可能性規制の強化、世界的な需要の減退といった外部環境の厳しさの中で進められています。したがって、資本市場の深化、輸出基盤のグリーン化、規制インフラの強化へのベトナムの取り組みは、圧力下での改革であると同時に、経済の成熟した新たな段階への移行を示しています。

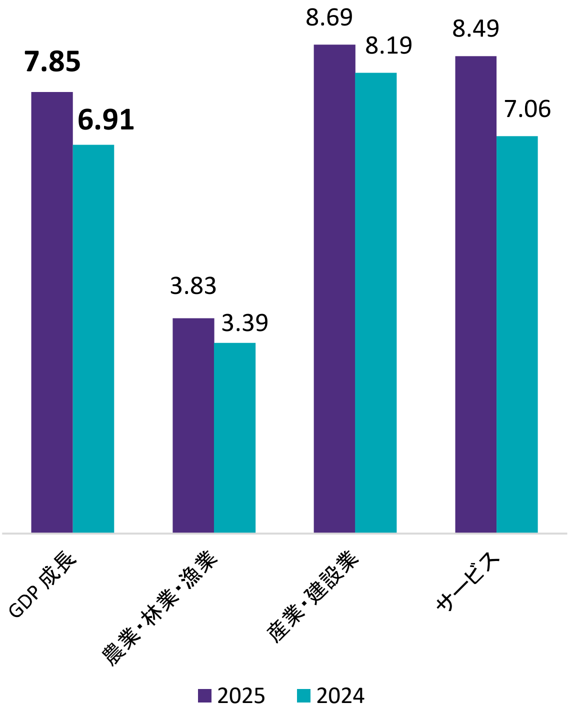
続きを読む

Grant Thornton

1. 産業とサービス主導で、9か月間のGDPが7.85%成長

国立統計局（NSO）によると、ベトナムの経済は2025年の最初の9か月間で7.85%成長し、第3四半期の成長率は前年同期比で8.23%に達しました。産業と建設部門が8.69%の増加で成長を牽引し、次いでサービス部門が8.49%、農業・林業・漁業部門が3.83%の成長を記録しました。工業部門の成長は、製造業、鉱業、公益事業の力強いパフォーマンスによって支えられました。サービス部門は観光と消費の恩恵を大きく受け、主要な祝祭イベントによってさらに後押しされました。

9か月間のベトナムの GDP 2025 と 2024 (%)



(出典: TheInvestor)

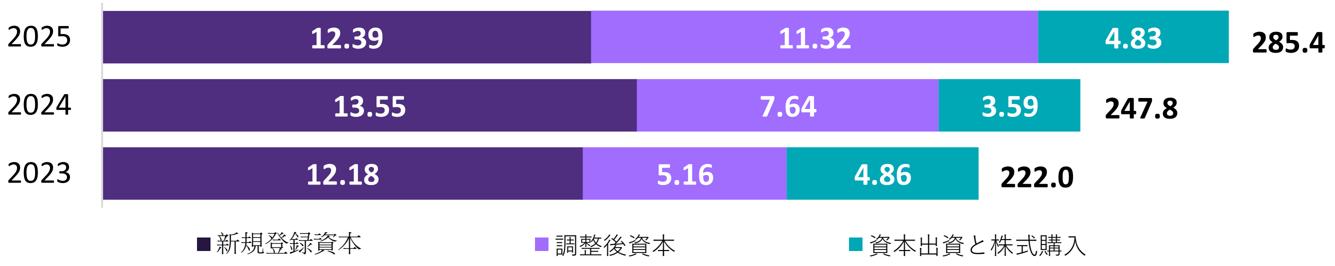
続きを読む

詳細については、こちらの[リンク]をご覧ください。

2. 投資家の信頼がベトナムのFDIを引き続き牽引

2025年の最初の9か月間で、ベトナムは総登録外国直接投資（FDI）額285.4億米ドルを誘致し、前年同期比で15.2%増加しました。登録資本の内訳は、新規登録プロジェクトが123.9億米ドル（8.6%減）、既存プロジェクトへの追加投資が113.2億米ドル（48%増）、資本拠出が48.4億米ドル（35%増）となっています。特筆すべきは、実行資本が188億米ドルに達し、この期間としては過去5年間で最高水準となったことです。これは、ベトナムのビジネス展望に対する投資家の信頼が継続していることを示しています。

ベトナムへの9か月間のFDI資本の内訳　2023～2025 (億米ドル)



(出典: Vietnam Economic Times)

続きを読む

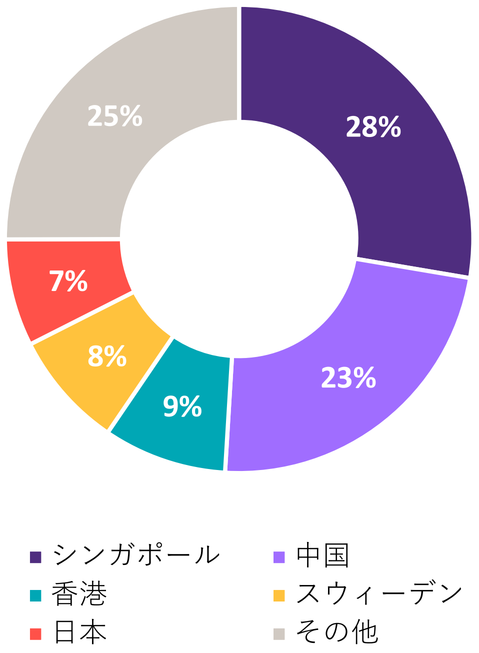
© Grant Thornton (Vietnam) Limited

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

2.投資家の信頼がベトナムのFDIを引き続き牽引(続き)

製造業は新規登録資本の主要な受け手であり、72.7億米ドル（58.7%）を誘致しました。不動産セクターが続き、25.7億米ドル（20.7%）を誘致しました。FDIの供給源に関しては、シンガポールが34.3億米ドルでベトナムへの投資の主要な供給国であり、中国、香港、スウェーデン、日本、台湾、韓国がそれに続いています。北東アジアの5つの経済圏からの投資家は合計96.3億米ドルを拠出し、新規資本流入の70%以上を占めています。

2025年9月までのベトナムへの新規登録FDIの出所（億米ドル）



(出典: Vietnam Economic Times)

続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

3. ベトナムの成長は世界の不確実性によって試されると予想されている

国際機関による9月の報告では、2025年のベトナム経済に対する見通しは多様です。ADBとUOBは前向きな見方を示し、それぞれ2025年の成長予測を6.7%と7.5%に引き上げました。一方、国際通貨基金（IMF）はより慎重な姿勢を取り、2025年の成長率を6.5%と予測し、2026年には減速の可能性があると警告しています。この減速の主な要因は、米国による新たな関税措置であり、直接輸入品に20%、転送品に40%の関税が課され、繊維、電子機器、機械などの主要輸出品に影響を与えています。安定した貿易実績やFDI誘致などの強固な国内基盤にもかかわらず、ベトナムは依然として外部環境の課題に直面しており、世界的な需要の変化、通貨への圧力、地政学リスクなどが含まれます。国際機関は一致して、改革の継続と政策の柔軟性がベトナムの成長軌道を維持するために極めて重要であると強調しています。

(出典: VietnamPlus)

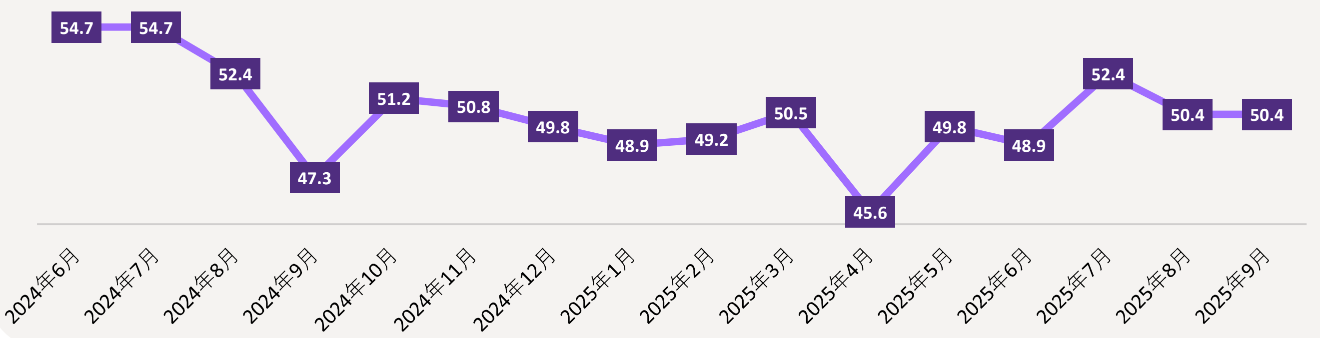
続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

4. 新規受注の回復により、ベトナムの製造業は安定を維持

S&Pグローバルの報告によると、2025年9月のベトナム購買担当者指数（PMI）は50.4で変わらず、3か月連続で緩やかな改善を示しました。拡大のペースはわずかでしたが、新規受注の回復が全体的なビジネスの信頼感を支えました。輸出受注は引き続き減少しましたが、その縮小ペースは過去11か月で最も緩やかでした。6月以降で生産量は最も弱い伸びとなりましたが、5か月連続で増加しました。

ベトナム購買担当者指数 (PMI)



(出典: S&P Global)

続きを読む

© Grant Thornton (Vietnam) Limited

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

5. ベトナムの貿易総額、9か月間で6,806億6,000万米ドルに到達

2025年の最初の9か月間で、ベトナムの貿易総額は6,806.6億米ドルに達し、前年同期比で17.3%の成長を記録しました。輸出額は3,487.4億米ドルで、そのうち外国投資部門が75.5%を占め、輸出成長を牽引する主要な役割を果たしています。輸入額は3,319.2億米ドルで、そのうち93.8%が生産用資材に充てられており、中間財への継続的な需要とベトナムのグローバルサプライチェーンへの深い統合を示しています。その結果として生じた168.2億米ドルの貿易黒字は、同国の輸出の強靭性を裏付けるものであり、貿易構造は支援産業への上流投資の機会を浮き彫りにしています。

輸出	貿易総額	輸入
3,487.4億米ドル	6,806.6億米ドル 168.2億米ドルの貿易黒字	3,319.2億米ドル

続きを読む

(出典: VietnamPlus)

© Grant Thornton (Vietnam) Limited

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

6. ホーチミン市、世界金融ランキングで順位上昇

ホーチミン市は、最新のグローバル金融センター指数（GFCI）で95位に上昇し、2022年にランキング入りして以来、最高の順位を記録しました。前回の版と比べて10ポイント上昇し、今後2～3年で大きな成長が見込まれる上位15都市の一つとなっています。注目すべきは、ベトナムが初めてタイを上回り、バンコクが102位に下落したことです。このランキングの改善は、2025年6月に国会で承認されたホーチミン市の国際金融センター（IFC）開発計画と一致しています。IFCは2025年末までに初期運営を開始し、5年以内に全面完成する予定です。このゾーンは、市中心部の旧1区およびトゥーティエム新都市エリアを含む783ヘクタールにわたって展開されます。

(出典: Vietnam Investment Review)

続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

7. ベトナムの株式市場、2026年に「二次新興市場」ステータスへ格上げ

FTSEラッセルは、ベトナムの株式市場を「フロンティア市場」から「二次新興市場」へ再分類すると発表しました。これは2026年9月21日から有効となり、2026年3月の中間レビューを経て正式決定される予定です。この格上げは、外国機関投資家に対する事前資金要件の撤廃や、取引決済プロセスの改善など、国際基準への整合性を高めたベトナムの進展を反映しています。この再分類により、ベトナムは世界の投資家からの注目度が高まり、資本流入の拡大が期待されます。HSBCは、これにより34億～104億米ドルの外国資本流入の可能性があると試算しています。当局は、MSCI新興市場ステータスの取得を目指す意向を示しており、国内ファンド業界の発展も加速させる方針です。投資家はこの節目を、より深い市場統合と長期的な成長可能性への一歩と捉えています。

(出典: TheInvestor)

続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

8. 物流セクターが戦略的インフラ投資を呼び込む

ベトナムの物流業界は、国際資本と戦略的パートナーシップによって新たな成長段階に入りつつあります。2025年9月、A.P.Moller Capitalは新興市場インフラファンドIIを通じて、VinaCapitalとともにALSカーゴターミナル株式会社（ALSC）との戦略的投資パートナーシップを発表し、ノイバイ国際空港での航空物流能力の拡張を目指しています。この取引は、ベトナムのインフラポテンシャルに対する投資家の信頼を示すものであり、物流ネットワークの近代化という国家的な目標とも一致しています。一方、エミレーツ・スカイカーゴは、2024～2025年にベトナムから13,873トンの貨物を輸送した実績を挙げ、同国の世界貿易における重要性の高まりを強調しました。これらの動きは、戦略的な資本流入とグローバルなパートナーシップが、ベトナムを将来の地域物流ハブとして位置づけていることを示しています。

(出典: Vietnam Economic Times)

続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

Grant Thornton

9. 新たなグリーン規制がベトナムの輸出にさらなる障壁をもたらす

EUの炭素国境調整メカニズム（CBAM）および森林破壊規制（EUDR）は、2026年1月1日より発効され、EUへの輸入品に対してより厳格な環境要件を導入します。CBAMでは、鉄鋼、アルミニウム、セメント、肥料などの製品について、輸出業者が炭素排出量を報告・検証する必要があります。一方、EUDRでは、コーヒー、木材、ゴムなどの農産物が森林破壊と関連していないことを証明する必要があります。これらの規制は、特にEU市場をターゲットとするベトナムの輸出業者に大きな影響を与えると予想されており、正確な排出量の追跡、よりクリーンな生産プロセス、透明性のあるサプライチェーンの必要性が高まります。輸出業者を支援するために、工業貿易省（MoIT）はグリーントレードの指針を策定し、製造業者が国際市場基準に沿った生産体制を整えられるよう、業種別のエコシステムの構築を進めています。

(出典: VietnamPlus)

続きを読む

詳細については、こちらのリンクをご覧ください。

お問い合わせ

仁科 仁

Jin Nishina

Director / CPA

T +84 906 719 178
E Nishina.jin@vn.gt.com

谷口 雅宣

Masanobu Taniguchi

Director / CPA

T +84 358 177 966
E masanobu.taniguchi@vn.gt.com

© Grant Thornton (Vietnam) Limited